

東日本大震災 復興・支援活動ニュースレター

カトリック仙台司教区・カリタスベース

発行人：平賀徹夫
〒980-0014 仙台市青葉区本町 1-2-12
カトリック仙台司教区事務局
Tel.022-222-7371 Fax022-222-7378
支援金振替口座：00170-5-95979
名義：カリタスジャパン
※通信欄に「東日本大震災」とご明記ください

38 年ぶりの教皇来日という大イベントがあり、各ベースで被災者の方々と共に祝ったクリスマスについて、お伝えするのが遅くなってしまいましたが、本号でご紹介いたします。まず、障がい者自立支援のために釜石市に開設された「ライトハウス」の最初のクリスマス会の模様。次に、クリスマスの聖劇についての二つの話題。第 1 は、カリタス南相馬が、保育補助のサポートをしている「さゆり園」の園児たちの聖劇。続いて大船渡ベースのスタッフによる「ケセン語による聖劇」。最後、「誰かのために」をモットーに石巻ベースで被災者の方々とスタッフ、ボランティアが、心を込めて準備したクリスマスをご紹介します。どうぞ、お楽しみください。

第 1 回ライトハウス クリスマス会 大成功！

放課後等デイサービス「ライトハウス」児童指導員 鈴木 勇

令和元年（2019 年）12 月 24 日に、第 1 回クリスマス会を開催いたしました。

ライトハウスは、平成 28 年（2016 年）乳幼児～18 歳頃までの障がいを持つお子さんたちを預かる場所として開設しました。2019 年ラグビーワールドカップが開催された「鶴住居(うのすまい)復興スタジアム」から内陸に 6 km ほどの住宅街に、一軒家をお借りして事業を行っております。高齢化の釜石市としては、貴重な小学生等の子どもさんたちが多い地区です。

開所から 3 年、地域の皆様のご理解とご協力をいただきながらここまで歩んでまいりました。今回は日頃、応援いただいている皆様に少しでも感謝の気持ちを伝えられればと思い、思い切ってクリスマス会を企画しました。ライトハウスの 1 階を開放し、さまざまな楽しみコーナーを用意して、自由に来て楽しんでいただけるような内容です。乳幼児等未就学の小さい子はママと一緒に、小学校が午前授業なので、ご近所には事前にチラシを配布してお誘いをしました。

お菓子のくじ引きコーナー。大きな袋、小さな袋、どのお菓子の袋が当たるか、ドキドキわくわくです。さらに、ポップコーンのお振る舞い。両手にお土産をたくさん抱える顔がほころんでいます。

販売コーナーも用意しました。同法人の通所施設「まりん」で利用者さんたちが制作した木の枝を使用したマグネット製品。ライトハウスでサークル活動をしている希望の会(成人障がい者親子 4 組)の方々が織った布で作った色鮮やかなボックスティッシュケース、ボランティアの方からいただいた可愛い模様の布バック。手に取り、おしゃべりしながらのお買い物。いつの間にか完売でした。



そして、サプライズとして、市内の NPO 法人を窓口にして行っている「100 人サンタさん」から、2 人も来てくれました。車から降りたサンタさんを見つけた少年が「サンタさん、トナカイさんは？」と鋭い質問。「えっ！ あっ、高速道路はトナカイさん走れなかったからサンタさんだけ車で来ました！」しどろもどろのサンタさんでした。一人一人抱っこして写真を撮ってもらったり、サンタさんも子どもたちに囲まれてうれしそうでした。

午後の 3 時間と短い時間での開催でしたが、普段利用されている児童の他、その兄弟やご家族、さらには普段お世話になっている地域の方や近所の子どもたち等、50 名ほどが足を運んでくださいました。

子どもたちからは「MAX 楽しい！」「クリスマスっていいね」といった声も。子どもも大人も笑顔であふれ、とてもすてきな時間となったと同時に、皆様との温かいつながりを深く感じることができました。

来年は無理のない範囲で町内会や老人クラブなど、もう少し地域の方と一緒にできればいいなあ～と思っております。

最後に、この場をお借りして、当法人を応援して下さいの皆様へ、改めて心より感謝を申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします



「さゆり幼稚園」聖劇で宣教

カリタス南相馬 畠中 千秋（聖心会修道女）

2019 年度の「カリタス南相馬」でのクリスマスの様子をお伝えしましょう。クリスマスはまず、隣の「さゆり幼稚園」のイベントから始まりました。

南相馬市市民会館「ゆめはっと」の大舞台上、さゆり幼稚園園児 100 名が、イエスの誕生物語(聖劇)と歌と踊りで 2 時間公演を果たしました。南相馬市の計らいで、毎年、幼稚園・保育園・子ども園の発表が持ち回りで、「ゆめはっと」の大ホール(1000 人収容)を使用できるそうです。今回、12 月 1 日(日)10 時開演の予定で、さゆり幼稚園に番が回ってきたのです。

12 月と言えば、クリスマスです。いつもは幼稚園のホールで所狭しといった感じで行っている「聖劇」を中心に据えて、2 歳半～6 歳の子どもたち全員参加の歌と踊りの公演となりました。



主日のミサ10時始まりを14時に変更して、カトリック原町教会もカリタス南相馬も総動員で、「ゆめはっと」でのさゆり幼稚園園児の聖劇公演の観劇に参加しました。

普段から、午後の預かり保育補助ボランティアをしている私たちにとっては、自分の子どもたちのように心配していました。2時間も大丈夫かしら？ 声を通るのかしら？ 1000人も客席が埋まるかしら？？？ 始まるやいなや、そんな不安は雲散霧消！！ ナレーション担当の子どもは、台本をきつく握りしめつつ、顔はしっかりと前を向き、大きな声ではっきりと発表していました。完璧！！ その姿に、感動し、ウルウルしてしまいました。どの子も完璧！！ 子どもたちの無限の可能性に全身、打たれました。



観劇した方からは、「この劇を見て、はじめてクリスマスの意味が分かりました！」という言葉を目にしました。子どもたちの「宣教」の時間でもありました。なによりも、子どもたち自身が、この日のことを忘れることがないでしょう。

24日、25日、原町教会ではクリスマスミサがささげられました。25日は幼稚園の登園日となって、10時から始まるクリスマスのミサに、さゆり幼稚園全園児と先生方も参加されました。小さな聖堂内の4分の3くらいが園児100名で埋め尽くされました。原町教会始めて以来の「歴史的なこと」ではないでしょうか？！

普段、原町教会には小学生1人だけが主日のミサに出席して、侍者もしています。たった一人だけの信者の子どもです。100名の子どもたちが信者ではありませんが、クリスマスのミサに参加したという事実は素晴らしい！！ この子たちにとっては、一生に一度の出来事かもしれません。ひょっとしたら、この教会に通うこともあるかもしれません。どこかに行って名前も知らない教会に足を運ぶかもしれません。私たちの夢と願いは、原町教会にもたくさんの子子どもたちが来て、ミサに参加し、「子どものミサ」や「子ども中心のファミリーミサ」などができたらいいな～～～！



原町教会の聖堂が、子どもたち(さゆり幼稚園園児)でいっぱいになりました

大ウケの「ケセン語聖劇」

カリタス大船渡ベース 菅野 文江

大船渡ベースでは、毎年クリスマス会でスタッフによる出し物を披露しています。去年は聖歌を歌ったけれど、今年は何をするのだろうと思っていたら、「ケセン語で聖劇をしたらどうだろう」という提案があり、面白そうだと即決定しました。

ケセン語をウィキペディアで調べると「日本の気仙地方（岩手県陸前高田市・大船渡市・住田町および宮城県気仙沼市など）等の地域のことば（方言）に対し、これを一つの言語と見なして与えた名称である」と書いてありました。ケセン語をいくつか紹介します。

あべ（行こう）、けえ（お食べ）、あがれ（家に入れ）、ちょんてろ！（黙って座っている！）、まんつ あのわらす かばねやみだごど（なんとあの子どもは 怠け者なんだろう）、どごだが えんずくて わがんねえ（体のどこかが いつもと違って 調子がよくない）、あんべわるぐな（体調を崩した）、等々。

おまじないの呪文のように聞こえるのではないのでしょうか？これらがケセン語で、私たちにとっては、なじみのある懐かしい言葉です。

ケセン語朗読劇に出演経験のあるスタッフが台本を用意し、皆で読み合わせる中で、言いやすいように変えたり付け足したりしていくことになりました。聞きなじみのある言葉とはいえ、地域ごとに若干の違いがあり、さらに私たちの年代には使い方の分からないものやうまく発音できないものもあるので、想像していたよりも大変な作業となりました。それでも、昼休みや空き時間を利用しての練習は、笑いの絶えない楽しい時間となり、笑いをこらえながらセリフを言うのが、一番大変だったかもしれません。台本の一部を紹介します。



ケセン語での聖劇を披露するカリタス大船渡ベーススタッフの皆さん

ナレーター：羊たちの声を聞きつけて、羊飼いたちがやって来ました。

羊飼いい1：なんと、めんようだぢさわいでっけんと、何したんだべ（なにか、羊たちが騒いでいるけれど、どうしたのかしら？）

羊飼いい2：やいっ。ちょんてろ！ば、なんとした今日あまだかだごどだなあ。何があったんだべが？ ほれ、見る。なんとおおぎい星だごどお。

（おい。黙って座っている！なんとも今日はひどくうるさいなあ。何があったのだろう？ ほら、見て。なんて大きい星だろう。）

羊飼いい3：ばばば。なんと、きれいだごど。

あやあ～、みんな静がに。何が聞こえつつお。

（まあ、驚いた。なんて、きれいなんだろう。）

あれ？ みんな静かに。何か聞こえるよ。）

ナレーター：すると、天使が現れました。

天使1：驚くことはありません。今日、あなたがたのために救い主がお生まれになりました。

天使2：救い主、イエス様は馬小屋の飼いやおけの中で眠っておられます。

天使1・2：さあ、みなさん、行ってごらんください。

ナレーター：羊飼いたちは話し合いました。

羊飼いい1：イエス様って、だんだべ？

（イエス様って、誰だろう？）

羊飼いい2：すぐい主なんだつあ。

（救い主なんだって。）

羊飼いい1：そうが～？ ならば、行って拝まねばわがんねあなあ。

（そうなんだ。それならば、行って拝まなければいけないね。）

羊飼いい3：んだ、んだ。みんなでおがみさ行くべし。

（そうだそうだ。みんなで行きましょ。）

どうでしょう。やはり呪文のように聞こえましたか？ ボランティアに来てくださっていた方に聞いていただいたら、「半分以上、よく分らなかった」そうですが。

クリスマス会当日は、子どもからお年寄りまで大爆笑で「懐かしい言葉がいっぱい出てきたねー」「よく練習したねえ。上手だったよー」と言っていました。大成功！ 実は、登場人物が全員揃ったのは、この日が初めてでした。

めでたし、めでたし。



誰かに喜びを届けたい 石巻ベースのクリスマス

カリタス石巻ベース 濱山 麻子

カリタス石巻ベースは、建物1階のホールをオープンスペースとして地域の皆さんに提供し、月に1度はそこでの昼食会や映画会など、イベントを企画しています。年間のイベントの中でも、クリスマス会は皆さんの期待が高まります。10月ごろから、「今年のクリスマスはどうしよう？」とスタッフ同士の話し合いを重ね、2019年のクリスマス会は「誰かのために」というテーマを掲げることに決めました。ふだん、私たちはカトリックという宗教色をあえて出さずに活動をしています。それでも、クリスマス会を通して、「誰かのことを思い、何かをする」体験をみんなでできたら、それはまさにカトリックの精神に通じるのではないか…というスタッフのシスターの言葉に、一同うなずいたのです。

12月に入ると、「誰かのために」、まずはクリスマスプレゼントの準備から始めました。手芸の大好きな女性たちに、たくさんのオーナメントを作ってもらい、次々にツリーに下げてもらいました。プレゼント作りのかわりには、カードの準備も始まりました。「誰かにかけてあげたい言葉」を、宛名も差出人も書かずに「誰かのために」書いてもらうという試みです。「なんて書こう？！」と頭を抱える人もい

れば、スラスラと何枚も書いてくれる人もいました。遠方の支援者の方からは、お菓子をたくさんいただきました。これは、カードと一緒に袋に入れて、サンタクロースが配るプレゼントにしました。石巻教会の信徒の方は、当日食べられるようにと焼き菓子を何種類も作ってくださいました。

12月20日、いよいよクリスマス会当日。仙台の一本杉教会（チーム・カリタス仙塩として）、「心の港」、石巻教会、横浜の戸塚教会から駆けつ



けてくださった11人のボランティアさんとともに、開場を今か今かと待ちかねた皆さんを出迎えました。常連さんや久しぶりの方、初めての方、子どもさんも交えて48人のご参加がありました。

オープニングは、ベーススタッフによる朗読劇「靴屋のマルチン」。続いて一本杉教会の皆さんによる「みんなで歌おう」のコーナー。おなじみのクリスマスソングや懐かしの歌謡曲をキーボードとサックスの演奏に合わせ、みんなで歌いました。「心の港」のお二人もアコーディオンと楽しいお話で盛り上げてくださいました。参加者の方々も大いにかかわってくださり、詩吟の披露あり、「松の木小唄」「北国の春」など全員での歌や踊りありで、和やかな時間が過ぎていきました。

ボランティアさんたちは何度も石巻ベースに来てくださっている方が多く、「支援者と被災者」というよりも「カリタスのおなじみ」といった自然な雰囲気でも、お客さんたちも安心した表情で一緒に笑いあっています。継続したかわりが実っていることを感じました。



クリスマス会に駆けつけてくださったボランティアさんとベーススタッフ

最後にサンタクロースが到着し、お一人ずつにプレゼントをお渡ししたほか、ツリーからそれぞれ好きなオーナメントを外して持ち帰っていただきました。（このプレゼントは、後日、東松島市と石巻市内の戸別訪問先へもお届けし、とても喜んでいただけました。）

「楽しかったです」「ありがとね」と笑顔で帰っていった皆さんが、ご自宅でカードやプレゼントを手に取って、「誰か」の温かい気持ちを感じてくださっていることを願っています。そして、石巻ベースのクリスマス会のためにたくさんの思いを届けてくださった皆様へ、心から感謝申し上げます。

